

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	観光地環境維持整備事業	担当者	地域経営課商工観光政策係
-------	-------------	-----	--------------

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	3. 地域を支える力強い産業の村／産業の振興／観光業の振興
関連する主な計画等	
根拠法	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他
事業の対象者	観光客
事業開始年	H26～ <input type="checkbox"/> 時期不明 <input checked="" type="checkbox"/> 終期末定

②事務事業の計画(PPLAN)、取組(DO)

実施目的	村内各地の観光資源について受入環境等の整備を行い、観光連携を高める中で、阿智村の交流人口の拡大を目指す。					
具体的取組	観光客、事業者の要望にそった事業を実施した。 萬岳荘改修工事 4,968千円、萬岳荘給排水工事 1,296千円、 恵那山登山道整備事業 5,940千円、富士の湯解体整地工事 14,613千円、 ライブカメラ更新事業 468千円					
実績・効果	観光地を整備することによって、観光客に観光、体験の場所として誘客でき、交流人口の増加、観光滞在時間の増加、消費が期待できる。					
歳出の内訳 (千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	工事請負費	27,285				
事業コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額 (千円)	22,253	32,307	27,285	63,200	30,000
	うち一般財源	22,253	2,607	18,115	9,700	30,000
	うち補助金		1,836	2,970	32,000	
	うち個人負担					
	従事職員 (人)	正規職員 0.1	0.1	0.1	0.1	0.1

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定	
必要性	住民のニーズは高いか	a	観光施策の一環としてみた場合、ニーズは高い 一定の効果はみられる 妥当である 村の施設であり、妥当である	A
	手段、成果は妥当か	a		
	対象者の設定は妥当か	a		
	村の関与は妥当か	a		
有効性	期待された効果が得られたか	環境整備が入り込み客等の維持、増加にどれだけ貢献しているのか断定できない	B	
効率性	コストの削減に努めたか	b	事業内容を精査して、発注した (株)阿智屋神観光局との連携を検討	B
	効率性を高める工夫はされたか	b		
公平性	受益者負担は適切か	村の事業である	A	
総合評価	B			

④改善(ACTION)

事業の方向性	継続・維持
課題	観光戦略の中で、本事業を位置づけ活用していくことが必要。
今後の取り組み	(株)阿智屋神観光局と連携をとりながら、進めて行くことを検討。